

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 高砂市

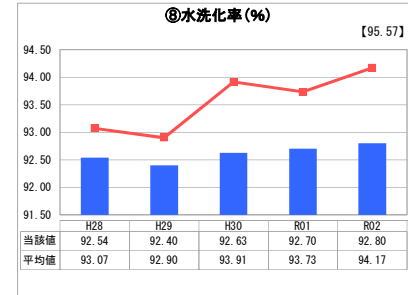
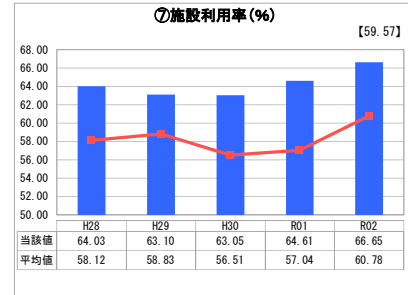
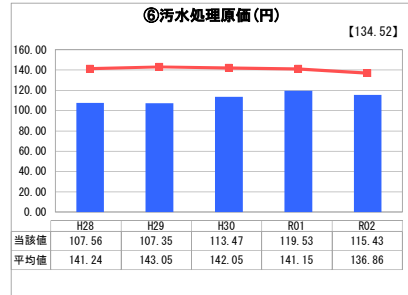
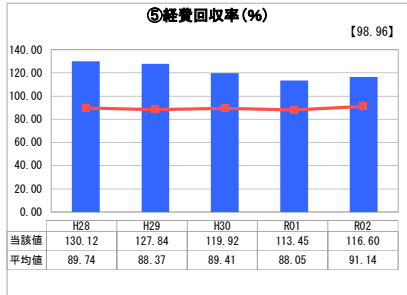
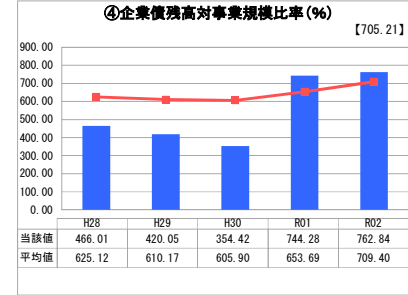
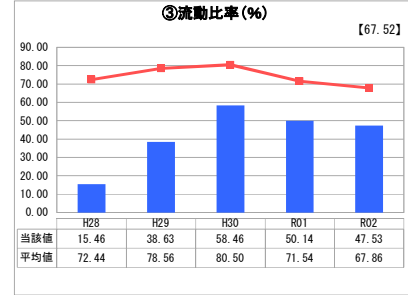
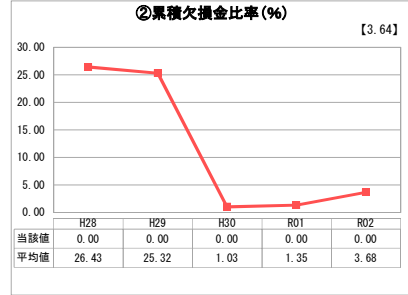
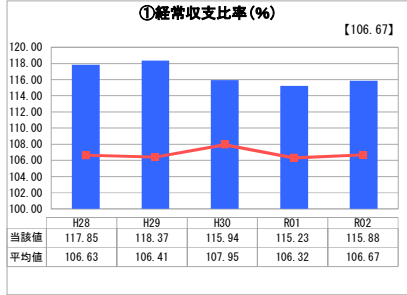
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	53.23	96.65	82.64	2,310

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
89,762	34.38	2,610.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
86,559	13.95	6,204.95

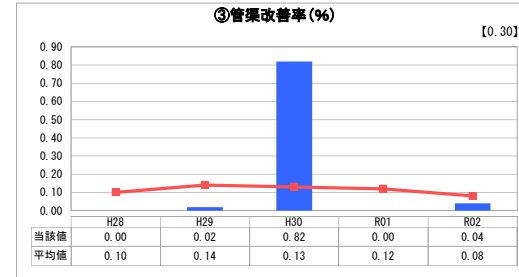
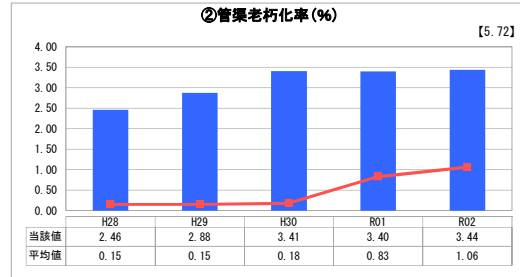
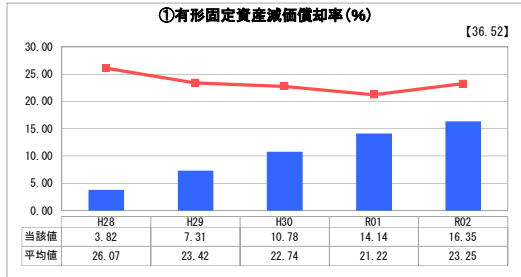
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率と⑤経費回収率はそれぞれ100%を超え、かつ、類似団体平均及び全国平均を上回っており、健全性を確保している。今後もさらなる使用料収入の確保及び汚水処理費の削減を継続的に行っていく。

②流動比率について、類似団体平均及び全国平均に比べて低い理由は、流動資産である現金預金が少ない、流動負債の元金償還金が多いことが要因である。これは、本市の地理的要因によるもので、処理場ポンプ場等の施設の建設に投資してきた額が類似団体より多いためである。

④企業債残高対事業規模比率について、類似団体平均及び全国平均に比べて高い理由は、一般会計負担分の割合が減少したためであるが、企業債残高も着実に減少させている。

⑥汚水処理原価について、類似団体平均及び全国平均に比べて低い数値となっており、投資の効率化、維持管理費の削減などの取組みを進める必要がある。

⑦施設利用率について、類似団体平均及び全国平均に比べて高い数値となっており、適切な施設規模を維持していると判断できる。

⑧水洗化率について、類似団体平均及び全国平均に比べて若干低い数値となっており、今後も水洗化率向上の取組みを継続していく。

### 2. 老朽化の状況について

②管渠の老朽化については類似団体平均から見ると比較的老朽化が進んでいるが、今後、管渠の更新を計画的に行い、③管渠改善率も上げていきたいと考える。

## 全体総括

過去に発行した企業債により経営の硬直状態が続くなか、施設の老朽化も進んでおり計画的かつ継続的に改築を行っていく必要がある。

また、人口減少や節水型社会が進んでおり、引き続き経費削減を行い、また、水洗化率の向上など安定した収入を確保していかなければならない。

そのため、令和元年度に上下水道事業審議会を立ち上げ、有識者や市民の意見、中長期的な投資・財政計画を反映させた下水道事業経営戦略を令和3年3月に策定し、今後も安全・安心な汚水処理・雨水処理の提供と持続可能な健全運営を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。